

イワシ類成魚の分布生態の研究

(我が国周辺漁業資源調査)

(予算区分 交付金 研究期間 平成7年度～)

担当：漁業開発部資源海洋研究室

【研究の背景とねらい】

国連海洋法条約批准に伴い、我が国周辺における漁業資源の漁獲可能量(TAC)を決定し、資源の保存及び管理に関する措置が義務付けられています。それを受け、重要魚種については資源評価が行われ、対象魚種の漁獲統計や生物情報等の収集が行われています。

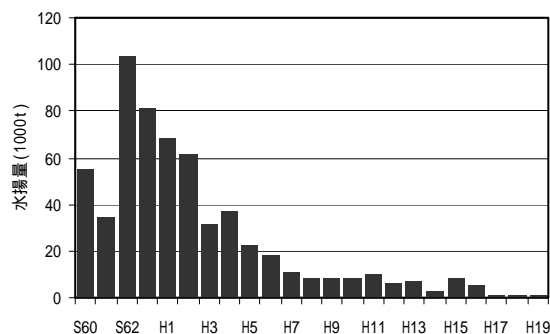
イワシ類についても、沿岸に出現するイワシ類成魚の漁獲統計や魚体組成を調査し、その成熟実態と併せて索餌北上群との関連を検討します。

【これまでに行われた成果】

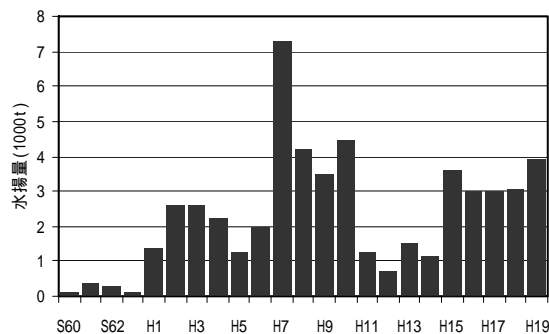
- ・県内におけるマイワシの水揚量は、昭和62年をピークに減少傾向にあり、近年は極めて低水準で推移しています。
- ・県内におけるカタクチイワシの水揚量は平成元年に急増して以来、平成7年をピークに高水準で推移しています。
- ・収集した漁獲統計や生物情報等を用い、平成20年1～6月におけるマイワシ、カタクチイワシの長期漁況予測を行った結果、マイワシの漁況は引き続き低水準で推移、カタクチイワシの漁況は前年を下回ると予測しました。



上：マイワシ、下：カタクチイワシ



県内マイワシ水揚量の推移



県内カタクチイワシ水揚量の推移

【期待される成果】

- ・水揚量等、体長組成、成熟状況等の生物情報を基に来遊機構や資源状態を把握することで、より精度の高い資源評価や資源管理目標について検討を行うことが可能となります。

【今後の計画】

- ・成熟実態と漁況の関係、県内の漁況と全国の漁況との関係について検討し、静岡県周辺海域におけるイワシ類来遊機構について把握します。

(作成 平成20年4月)